

## 中学校の部 最優秀賞

四国防災八十八話 第27話 はよう逃げ、はよう逃げ

### 命を守る行動

内海中学校 1年 <sup>ひょうどう</sup>兵頭 <sup>たいが</sup>太嘉

僕は、これまでの防災学習で、地震や大雨のときにはすぐ逃げろということをお勉強しました。西日本豪雨のときにも、すぐ逃げなかった人たちがたくさん命を失ったということをテレビなどで知りました。亡くなった人の家族の声の中に「はやく逃げていたらよかった。」というものがありました。そのことを生かし、南海トラフなどに備えていきたいと思います。

僕たちの住んでいる地域は、南海トラフ巨大地震の被害が心配されています。地震の揺れが収まるまで身を守り、その後すぐに逃げたいと思います。地域の人たちと声を掛け合いながら、すぐ避難したいと思います。僕たちは、龍王様前に避難します。坂が急なのでお年寄りの手を引くなどの配慮をしたいです。

僕は、小学三年生のときから防災学習に取り組んでいます。その中で、すぐ逃げるために、避難経路をたくさん確認しました。最短ルートや一番安全な経路などです。そのルートを頭に入れておきたいと思います。

この作文を読んで、作者の気持ちが分かりました。僕は、すぐに逃げて家族全員が助かりたいと思います。防災学習を通して学んだことを思い出しながら、地震が起こったときは、何よりも早く逃げることを心掛けたいです。これからも、常に安全に気を付けながら生活していきたいです。そして、自分たちが学んできたことを、地域の人たちに伝えていこうと思います。僕たち若者が、これから地域を守っていく役割を果たしていくことになります。その自覚を持って行動していこうと思います。